

令和元年度 算数科授業の略案 (3 学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
5 月 15 日 (水) 2 校時	わり算	新しい計算を考えよう
本時のねらい ○除法に関する用語や記号を知り、等分徐の意味について理解する。		
評価規準 関 等分徐の意味を具体物の操作などからとらえようとしている。(観察・ノート) 知 等分して 1 人分の数を求める場合は除法の式に表すことを理解している。(観察・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 9:30 (5分)	○教科書 p.38 の挿絵の拡大を見て、やきそばとジュースの分け方の違いをペアで話し合ひましょう。	・やきそばは分けた量が違うこと、ジュースは同じ量ずつ分けていることを確認させる。
【展開】 問題提示 9:35 (5分)	1 問題を読む。 クッキーが 12 こあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何こになりますか。 ○分かっていることや気づいたことを発表しましょう。 ・同じ数ずつ分けるは、今までの計算方法では求められなさそう。 ・クッキーは全部で 12 こある。・3 人で分ける。・1 人分を求める。 ・ 同じ数ずつ ・ 分ける ・ 1 つ分 ・ いくつ分 ・ 全部の数	・数や求めるもの等の下線を引かせ強調し、何を分ける問題か (全部の数)、何人で同じ数ずつ分けるか (いくつ分)、たずねられているのは、(1 人分)であることを確認する。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。*リーダー
キーワード 課題把握 ・問いの共有 9:40 (3分) ・見通し ・シラバス 9:43 (15分) ・言語わざ 自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 9:58 (10分) ・考察	2 課題を把握する。 1 人分の数のもとめ方について、絵や図、式を使って説明しよう。 ・おはじきを使う ・式や図を使う 一人学び(8分)・班学び(7分)・学び合い(10分)・まとめ(4分)・ふりかえり(3分) 「友達の見意とくらべてせつ明する」 「算数用語を使ってせつ明する」 3 1 人分の数の求め方を考える。 ○図や式、言葉を使ってもとめましょう。 ・1 人に 1 こずつ配る。 ・ $12-3-3-3-3$ ・かけ算を使って求める ($\square \times 3 = 12$)。 4 考えたことを説明する。 ○同じ求め方や違う求め方、気づいたことを発表しましょう。 ・1 こずつ分けても、いくつ分けても、1 人分は 4 こになる (分け方は違うが、やっていることは同じ)。 ・12 このクッキーを 3 人で同じ数ずつ分けていることは同じ。 ○いろいろな分け方も $12 \div 3 = 4$ という同じ式で表すことができます。	・自力解決が厳しい児童には、12 このおはじきを 1 こずつ配ってみるよう に助言する。 関 等分徐の意味を具体物の操作などからとらえようとしている。(観察・ノート) ・どの方法も等分していることやどの方法でも答えが同じになることを確認する。 ・1 人に 1 こ配るには、3 こ必要であることを確認する。 ・÷の筆順を確認する。
まとめ 10:08 (4分)	1 人分の数を求めるには、 $12 \div 3 = 4$ というわり算を使う。	
【終末】 適用問題 ふりかえり 11:12 (3分)	5 p.41 の適用問題に取り組む。 6 学習したことを振り返る。	知 等分して 1 人分の数を求める場合は除法の式に表すことを理解している。(観察・ノート)